

今後の取組み概要について

航空局 航空ネットワーク部 空港技術課
令和7年3月

○ 自動除雪の具体化として、要素技術の実証実験、自動化車両の開発に取り組む。なお、取り組みにあっては、各空港が抱える課題や自動化に向けた取組み等について相互に共有を図り、現場の実態に応じた、適切な技術導入・開発等の方向性を検討するために、従来以上に運用者（空港管理者）と連携して取組む

車種	項目	これまでの取組	2025年度	2026年度	2027年度	以降	
 プラウ除雪車	省力化	・運転支援ガイダンスシステム2台導入 ・省力化運用時のマニュアル整備	マニュアル等の 評価・見直し	オペレータ1名による除雪作業体制の構築 ※1			
	自動化	・プラウ装置の上昇下降 ・走行装置の自動化に向けた検討および 基礎データ取得	除雪装置の自動化に向けた実証実験等 ※4				
			走行装置の自動化に向けた実証実験等 ※4				
 スノーパ除雪車	省力化	・運転支援ガイダンスシステム1台導入 ・省力化運用時のマニュアル整備	マニュアル等の 評価・見直し	オペレータ1名による除雪作業体制の構築 ※1			
	自動化	・スノーパ装置の上昇下降、左右旋回 ・走行装置の自動化に向けた検討および 基礎データ取得	除雪装置の自動化に向けた実証実験等 ※4				
			走行装置の自動化に向けた実証実験等 ※4				
 ロータリ除雪車	自動化	・自動化に向けた仕様検討	自動化ロータリ除雪車の開発		高度化に向けた開発検討		
システム開発	自動化	・要素技術の調査 ・雪質データの取得等	要素技術に係る実証実験等				要素技術の車載
			作業装置の一部自動化に向けた開発検討				

※1・2 各空港における除雪車へのガイダンスシステム、装置の上昇下降は更新等にあわせて適宜整備。
※3 空港除雪に使用する車両として凍結防止剤散布車があるが、当該車両については走行装置の自動化の状況に応じて導入。
※4 北海道エアポート(株)による取組み等とも連携